

- ひびき ① 家紋
- 組合行事 ② 平成29年関西電気工事工業会新年祝賀会
② 各府県賀詞交歓会
- 調査センター
だより ⑦ 奈良電気安全サービス 高田調査センター
- おしらせ ⑦ 第3回関西電気工事工業会技能競技大会の開催について
- ⑧ 平成29年電気記念日傘寿功労者について
- ひろば ⑧ リターンライダー



遊覧船でお堀を優雅にクルージング！？

姫路城では今、かつて姫路藩で利用されていた和船（高瀬舟）を復元した観光和船でお城の内堀を巡るのが観光客の人気を集めています。

実施日時

平成29年3月25日（土）～5月7日（日）の毎日

上記以外の平成29年3月18日（土）～11月26日（日）の土日祝

● ひびき	① 家紋
● 組合行事	② 平成29年関西電気工事工業会新年祝賀会
	② 各府県賀詞交歓会
● 調査センター だより	⑦ 奈良電気安全サービス 高田調査センター
● おしらせ	⑦ 第3回関西電気工事工業会技能競技大会の開催について
●	⑧ 平成29年電気記念日傘寿功労者について
● ひろば	⑧ リターンライダー



家 紋



奈良県電気工事工業組合
理事長 尾上 剛 二

貴方のお家の紋章は何ですか、因みに私方は丸に橘です。過日或る結婚披露宴での両家の家紋に興味を以って、由来や起源を調べてみました。

諸説によりますと平安時代に牛車に付けた紋が始まりとされ、平安貴族が使い始めその紋章が武家社会に浸透し、やがて江戸時代に家紋として庶民に拡大したとされてます。今では全国民が所有し家系代々受け継がれており、此の家紋は世界でも類のない日本独特の文化でもある。

日本人の苗字の殆どは源、平、藤原、橘の4つに分類され、これら4つの姓は「四大姓」源平藤橘(げんぺいとうきつ)と称されております。朝廷に於いて権勢を誇る四大氏族として定着、武家社会が発生すると彼等は自分達の素性が正統である事を主張する為、源平藤橘の何れかの系譜に属している事

を明らかにする必要が有りました。

然し其の真偽は別とし、血統の証として使用された系図で代々伝わるとされた家紋でした。こうした流れの中、源平藤橘を代表する家紋として考えられているのが、源氏の「笹竜胆」、平氏の「揚羽蝶」、藤原氏の「下がり藤」、橘氏の「橘」ですが、確かな分類には難しく自然に増殖していったのが実態である。

戦国時代に使用された代表的な家紋では、織田信長の「織田木瓜」、豊臣秀吉の「太閤桐」、徳川家の「三つ葉葵」があり一般的によく知られております。尚 戦国武将では伊達政宗は仙台笹「竹に雀」、武田信玄は「武田菱」真田幸村の「六文銭」、竹中半兵衛は「九枚笹」、山本勘助の「巴紋」など色々有ります。因みに笹は中国では鳳凰の食べ物とされ吉祥の印で又、巴は水の流れを意味し、自由闊達に勢する氏族を象徴しているかと、連合艦隊指令長官山本五十六は山本勘助の子孫とされ「左三つ巴」を家紋にしています。

現在でも商標(ロゴ)には紋章に等しい独自の経営理念が込められ数多く登録されておりますが、企業が掲げる会社ロゴをもう一度見つめてみるのも一理かと考えます。

平成29年関西電気工事工業会新年祝賀会

関西電気工事工業会の平成29年新年祝賀会を1月19日（木）ウエスティンホテル大阪「パウリスタ」にて17時から開催いたしました。

当日は、新年を祝し、関西電力(株)電力流通事業本部より玉田ネットワーク技術運用グループチーフマネージャー様をはじめ、古田マネージャー様、入江田様のご臨席のもと、向山会長の開会のご挨拶で始まり、玉田チーフマネージャー様から松浦ネットワーク技術部長のご祝辞をご披露いただき、尾上副会長の乾杯のご発声により開宴となりました。

宴席では4月からスタートする電力様のガス事業への進出や昨年実施された工業会の技能競技全国大会、米国大統領の影響等々、豊富な話題で大いに盛り上がり和やかな雰囲気で行いました。中締めは、橋詰副会長のご挨拶と今年の工業会の隆盛を祈念し“万歳三唱”により名残を惜しみながらお開きとなりました。



向山会長挨拶



閉会時の万歳三唱



玉田チーフマネージャーの祝辞

平成29年 年賀交歓会 <大阪>

大阪府電気工事工業組合・大阪府電気工事技術協会の共催による年賀交歓会が、1月13日（金）17時30分よりスイスホテル南海大阪「浪華」で開催されました。

ご来賓、業界関係者、組合員の方々、総勢約220名が定刻前に集まり、祝宴がスタートしました。当日、橋詰理事長は「人材不足対策で教育機関との交流会を推進、電職ネットの導入、大阪府電気技術協会の建物にエネルギーの見える化システム（BEMS）のモデル設置など提案技術営業を進めていきます」と新年の挨拶を述べ来賓祝辞として自由民主党・衆議院議員 佐藤ゆかり氏は「電気電力のシステム改

革が進んできています、工事店の皆さまには消費者の信頼や質の高い事業を展開され電力の安定供給に一役を担っていただきたい」また自由民主党・参議院議員 太田房江氏からは「効率のよいぶれない、停電もない電気を電気の技術集団で維持発展して組合の反映にもつながると思います」とそれぞれお言葉を頂きました。

関西電力(株)大阪南電力部電力部長 香田伸司氏、大阪府電設資材卸業協同組合副理事長 寺脇康祐氏、パナソニックエコソリューションズ社近畿営業部上席営業部長 井上富雄氏にそれぞれご挨拶を頂き、来賓と賛助会員のご紹介を行い、法被を着た橋

詰理事長と主賓の方々に「よいしょ」の掛け声で力強く鏡開きが行われました。関西電気保安協会理事長 川邊辰也氏の乾杯の音頭で祝宴に入り和やかな懇談の中、昨年第二回電気工事技能競技全国大会の上映や祝電が披露されました。時のたつのも早く中締め時刻となり各支部長が壇上へ上がり高津副理事長のかけ声で大坂締めにて閉会となりました。



橋詰理事長 挨拶



衆議院議員 佐藤ゆかり氏



参議院議員 太田房江氏



関西電力大阪南電力部長
香田伸司氏



大阪府電設資材卸業協同組合
副理事長 寺脇康祐氏



パナソニック㈱エコソリューションズ社 近畿営業部
上席営業部長 井上富雄氏



(一財)関西電気保安協会理事長
川邊辰也氏



鏡開き

平成29年 新年賀詞交歓会 <京都>



植田理事長 挨拶



山下副知事

平成29年京都府電気工事工業組合の新年賀詞交歓会を1月10日（火）、ホテルグランヴィア京都「竹取の間」にて午後3時から開催いたしました。

新年を祝し、来賓20名、賛助会員14名、組合関係72名の計106名の方々に出席いただきました。植田理事長の挨拶で開会、来賓としてご臨席頂きました京都府山下副知事、京都市産業観光局 安河内博商工部長（市長代理）、京都府中小企業団体中央会 大里茂美専務理事（会長代理）、関西電力㈱ 萬田恭久京都電力部部长より祝辞を頂戴し、松井名誉理事長の乾杯発声で祝宴に入りました。

参加者は和やかな雰囲気の中で交流を深めました。盛り上がりも最高潮に達した頃、前平副理事長の閉会の挨拶で惜しまれつつ散会となりました。



懇親会

平成29年 新年役員・支部長合同会議 <奈良>



尾上理事長 新年の挨拶

「平成29年新年役員・支部長合同会議」が、奈良工組会議室で平成29年2月10日10時30分から開催されました。水野副理事長の司会により、尾上理事長の挨拶に始まり、堀総務委員長、松田技術委員、上本広報委員、巽福利厚生委員長、吉田青年部会会長のご挨拶に続いて10月6日に行われる第3回関西地区電気工事技能競技大会とその他議案「足場組立等」特別教育、稲荷祭について協議され、すべての議案が満場一致で承認されました。

12時からの懇親会には、ご来賓を迎え、奈良県中小企業団体中央会桜井専務様、関西電力株式会社奈良電力部米田部長代理様よりご祝辞をいただき、祝電披露の後、(一財)関西電気保安協会井上部長様の乾杯で懇親会がスタートし、和やかな雰囲気でご歓談が続き福本副理事長の閉会のご挨拶でお開きとなりました。

◆ 御来賓のご紹介 (敬称略) ◆

[奈良県中小企業団体中央会]

専務理事 桜井 良彰

[関西電力株式会社]

奈良電力部	部長代理	米田 聡
奈良電力部ネットワーク技術G	チーフマネージャー	田中 康一
奈良電力部奈良ネットワーク技術センター	所長	湯出口幸久
奈良電力部高田ネットワーク技術センター	課長	神野 勝志

[(一社)関西電気管理技術者協会]

奈良支部 副支部長 南浦 宏安

[(一財)関西電気保安協会]

奈良支店	営業部長	井上 一也
中地域電気安全調査センター	所長	三林 泰宏

[パナソニック株式会社エコソリューションズ社]

奈良電材営業所 所長 小山 貴之

[(一社)奈良電業協会]

会長 藤原 隆夫

[社会保険労務士]

顧問 川崎 正幸



合同会議の様様



ご来賓を迎え尾上理事長挨拶

平成29年『新春理事会』
『新春賀詞交歓会』開催!! <滋賀>



開会挨拶 鹿野理事長

平成29年の新年を迎えるにあたり、恒例の『新春理事会』『新春賀詞交歓会』がびわ湖大津プリンスホテルにて1月21日(土)開催されました。『新春

理事会』はコンベンションホール1Fの「石楠花二の間」において、午後1時30分より鹿野理事長をはじめ25名の役員・事務局が出席し開催されました。最初に鹿野理事長から新年の挨拶があり、組合の総務委員会、技術・教育委員会、内研・特別委員会等の各議題について慎重に討議されました。追って、(職)滋賀県電気工事技術協会、滋賀電工組株式会社の理事会・役員会が開催され、午後3時40分に終了いたしました。

引き続き、午後5時より『新春賀詞交歓会』がプリンスホール3Fにおいて盛大に開催されました。『新春賀詞交歓会』では、江川副理事長の開会のことばに始まり鹿野理事長から年頭の挨拶がありまし

●組合行事

た。その挨拶では、最初に国会議員の皆様をはじめとする各界からのご来賓の皆様に対し、ご臨席のお礼を述べた後、現在の滋賀県電気工事工業組合の事業の概要説明がありました。

その後、野田藤雄滋賀県議会議長、西川美則滋賀県防災危機管理監、櫛 真夏関西電力株式会社滋賀支社長より各々ご祝辞を頂戴し、国会議員・来賓の皆様方の鏡開きから本庄浩二公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会会長の乾杯のご発声により懇親会へと移っていきました。そして、総勢240名による

今年の『新春賀詞交歓会』は鷺見達夫滋賀県市議会議長会会長の中締め、藤本副理事長の閉会お礼のこたばで午後7時30分に盛会裡に幕を閉じました。



関西電力滋賀支社 櫛支社長ご祝辞



鏡開き



会場風景

平成29年新春懇親会 <和歌山>

和歌山県電気工事工業組合の新春懇親会を1月27日(金)ホテルグランヴィア和歌山に於いて開催いたしました。来賓19名と当工組役員、職員あわせて44名が参集し、司会進行役は職員の下代が務めまして午後6時より開会しました。

狩谷理事長の新春挨拶からはじまり、和歌山県知事仁坂吉伸(代理)副知事下宏氏、関西電力(株)和歌山電力部部长谷口淳二氏よりご祝辞をいただきました。続いて当組合顧問、県議会議員山下直也氏からも

新春祝辞をいただき、景気の低迷で業界は厳しい環境のもとにあるなかで、日々変わりつつある社会の変化に対応する為に組合として出来る新しい事業の改革を、力をあわせて進めていくことを確かめあい、関西電力(株)和歌山営業部部长杉山太氏のお言葉により一同乾杯の唱和をいたしました。

華やいだ、和やかな雰囲気です懇談の輪が広がる中、谷本副理事長の閉会の辞と『一本締め』で明るく締めくくられ、新春懇親会は盛会裡に終わりました。



狩谷理事長 挨拶



乾杯

調査センターだより

奈良県電気工事工業組合
奈良電気安全サービス
高田調査センター長
持田 賢



高田調査センターの調査エリアは、吉野川の以南と奈良市の一部、奈良県の面積の3分の2を占めますが、戸数は3分の1と密度の薄いエリアとなっています。エリア内はさくらの名所 吉野山、大峯奥駈道、熊野古道と歴史的遺産が点在し、溪流魚が住む清流が多々あります。

現在は、一世を風靡した吉野杉を代表とする林業も下火となり、梅・柿の栽培、又 バイオ発電所の稼働など散見されますが過疎化が止まらないよう

す。そのような環境の中で、定期調査・竣工調査合わせて年間3万口をセンター長、事務員を含め計9名で業務に取り組んでおり、現場は、自然豊かな反面、天空の住宅へのルートが解らず苦慮することもあります。電気の「安全・安心」をお届けすべく日々邁進しております。

当センターは、開設5年半を経過し、定期調査の計画も年1回 調査員全員による宿泊出張調査を含め安定してきました。調査員は、電気保安の経験豊かな人ばかりですが、高齢者が多数を占めていることから、特に健康に留意し、安全第一をモットーとして業務を進めています。近年 熊の出没が報道されたりして心配の種が増加しています。

お客さまに信頼して頂けるように今後も新知識の習得に心がけ、現状に最適な電気の安全使用に関するアドバイスができるように努力してまいりますので、皆様のご指導よろしくお願い致します。

高田調査センターの皆さん



第3回関西電気工事工業会技能競技大会の開催について

- 開催日時 平成29年10月6日(金)
- 開催場所 京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)
(〒612-8450 京都市伏見区竹田烏羽殿町5番地)

※第3回関西電気工事工業会技能競技大会が平成29年10月6日に京都パルスプラザにおいて開催されます。組合員の皆様のご来場を宜しくお願いいたします。

関西電気工事工業会

平成29年電気記念日傘寿功労者について

平成29年3月24日（金）に平成29年電気記念日祝賀会において傘寿功労者の表彰式が行われ、関西電気工事工業会から18名の会員の方々が受賞されました。今後、益々のご健勝を祈念申し上げます。（下表参照）

受賞者名

所属工組	氏名	所属工組	氏名
大阪府	中村 忠男	京都府	麻野 哲
	石丸 清		池内 檀 夔
	山本 雅昭	兵庫県	藤井 久雄
	山野 明夫		北口 嘉一
	蔦井 湧一	奈良県	安田 檀 昭
	中西 啓次郎		村中 良光
	石川 勝	滋賀県	澤井 純雄
京都府	清水 良雄	和歌山県	野井 晋
	松波 久司		岡本 勝美

順不同、敬称略



リターンライダー

京都府電気工事工業組合 副理事長 鎌谷 裕介



唐突ですが、国内の二輪車の販売台数は1980年代初頭年間300万台を超えていたのが、近年に至っては30万台少しとのこと。最盛期の10分の1と言われる市場規模の中で商売をされている業界関係者の方々におかれましては、大変なことかと思われま。しかしながら、大半がいわゆる50cc以下のスクーターが占めていたようで、例えば京都市内では見るからに危ない邪魔なスクーターが減って、自動車での安全運転にはスッキリとした視界が見られます。そして、この業界を影で支えているのが熟年ライダーと称される"リターンライダー"のようです。

最近再び乗り出したこのリターンライダー達が高額な大型バイクを買い求め、業界の売上に貢献しながら休日ともなるとあちらこちらに出没されてお

ます。ただし、オートバイは4輪車と違って非常に不安定な乗り物です。基本的に自立しないのですが、不思議なことに走り出すと安定して走行でき、自制心を持って操ればなんとも魅力的な乗り物であります。反面事故も多く、十分に気をつけたいものです。

かく言う私もそのライダーの一人であります。その昔、十代の学生の頃の話ですが、当時割と頑張っでスキーの競技をやっておりました。その頃の仲間とはその後も付かず離れずの付き合いでしたが、一昨年頃からその中の3人が集まって、一緒にバイクで走り出しました。いわゆるリターンライダーです。基本的に日帰りツーリングしか行きませんので、京都市内を起点に行ける場所限定で動いております。気候の良い季節は気持ちよくライディングできます



紅葉を訪ねて



マキノにて

が、夏は暑くて走行中はまだ良いのですが停まるとまあ大変。冬は寒くて路面も凍っていたら危険なので、雪を見るとまず乗らない、お気楽軟派なライダーです。愛車の趣向としましては、昔は何が何でも空冷4気筒エンジン搭載車でしたが、今は各社性能が飛躍的に進歩して水冷式になっても軽い車体が作れるようで、いろいろな排気量のいろんなエンジンタイプの車体で楽しんでおります。車と違って、保管場所もコンパクトで済みますから常時2～3台のバイクを手元に置いて取っ替え引っ替え乗り回し、かの業界に陰ながら貢献致しております。

いずれにせよ、年寄りの冷や水とならないように慎重に運転して、いつまでも楽しい趣味としてのバイクライフを送れるように、安全運転で走り回りしたいと思います。



美山にて

ぞんせつ

発行日／2017年4月 第185号
 発行／関西電気工事工業会(2府4県)
 大阪市北区本庄東2丁目3番38号
 TEL 06(6371)5534・FAX 06(6371)2338
 発行人／向山 和義 事務局 土田 忠正

でんせつ編集委員会
 委員長 井上 宜清
 委員(大阪) 小森 敏鑑
 委員(京都) 森川 賢悟
 委員(兵庫) 坂元 宣之
 委員(奈良) 福本 幸一
 委員(滋賀) 藤本 一矢
 委員(和歌山) 吉川 幸夫

発行部数 7,000部 年4回(1・4・8・11月)発行

平成二十九年陽春号(季刊発行)

発行所 関西電気工事工業会